県立大「いつでも青春キャンパス」活動報告会

県立大のシニア大学生14人がキャンパスライフの様子を発表した活動報告会

年を重ね輝き続ける

県立大学と秋田魁新報社の共同生涯学習プログラム「県立大いつでも青春キャンパス」の活動報告会＆講演会が２月16日、秋田市のあきた芸術劇場ミルハスで開かれた。約500人の来場者を前に、昨年５月に入学したシニア大学生14人が学習成果を発表したほか、90歳の現役声優として活躍する羽佐間道夫さんが「人生100年時代　元気をつくる《声》の話」と題し講演。今なお若い世代と交流を図り、楽しみながら仕事を続ける秘けつなどを語り、来場者は熱心に耳を傾けていた。内容の一部を紹介する。

県立大・福田裕穂学長　学び直しの機会提供

日本は少子高齢化、特に秋田は大変だと言われていますが、本当でしょうか。私の好きな歌手の歌の中に、人生は若い頃から素晴らしいとありますが「60代、70代、80代いずれも素晴らしい」と歌います。さらに、デニムの青が色あせてますます味わい深くなると続きます。第2部でお話しいただく羽佐間さんは90歳で現役の声優。まさに今、われわれシニアの時代が来たのではないのかと思います。

しかし、第1回目の人生を全速力で走り抜けてきたわれわれにとって、多少休んだり、もう1度学び直すことも必要です。そんなシニアの皆さんのために県立大学は65歳以上を対象に1年間、現役の大学生と一緒に学び、研究などをしてもらう「いつでも青春キャンパス」を始めました。

さまざまなキャリアを持つ方に入学いただき、本人たちだけではなく、先生も現役の学生たちもかなり楽しんでいると聞いています。羽佐間さんによる、人生100年時代になった時にどんなふうに年を経て活動していくかという話も参考にしていただき、シニアの皆さんの活躍につながることを祈念して、私のあいさつといたします。

県立大「いつでも青春キャンパス」　県立大と秋田魁新報社が共同で昨年から実施している生涯学習プログラム。高齢になっても学び続ける生涯学習を支援し、地域活性化につなげる狙い。対象は65歳以上の県内在住者。筆記と面接の試験に合格すると、「シニア大学生」として同大で約1年間学ぶことができる。昨年5月に入学した1期生は今年5月に卒業予定。

ゲスト講演　声優・羽佐間　道夫さん（90）「人生100年時代　元気をつくる《声》の話」

90歳で現役声優

現代の声優の原点は、そんなに古くありません。1953年、日本のテレビ放送はNHKから始まり、これを追いかけるように民間でも映像放送がスタートしました。ところが、放送する映像コンテンツがない。当時、放送局は苦肉の策として、映画館で流していたニュース映画をそのまま取り上げるなどしていましたが、一番人気があったのは、プロレス中継でした。テレビは高価で家庭にない時代だったので、庶民は街の広場などで楽しんでいました。

プロレスばかりではなくドラマもやりたいと、映画会社のフィルムを使う案も出ました。でも、貴重な財産をテレビで流したら「映画館に人が来なくなる」と、国内の映画会社はフィルムも契約している俳優も貸さないということに。そこでテレビ局はヨーロッパやハリウッドの映画会社に要請。これで一挙にコンテンツが手に入り、放送局のゴールデンタイムは外国の映画であふれました。

最初は映画館と同じように字幕で放送されましたが、電波状態やブラウン管の調子が悪く、文字がよく読めないという事態に。「間違って伝わる」と苦情が出始めます。例えば字幕は濁音と半濁音などが見えなくなってしまうため、「ターザンの冒険」が「ターサンの冒険」、「オズの魔法使い」が「オスの魔法使い」など意味不明になってしまいました。このようなことから、字幕よりも日本語に吹き替えたほうがいいという流れになりました。

はざま・みちお　33年熊本県生まれ。声優。映画「ロッキー」で主演したシルベスター・スタローンなど数多くのハリウッド俳優の吹き替えを担当。90歳を迎えた現在も、報道番組「news every.」のナレーションを務めるなど精力的に活動している。都内在住。

最初は歌舞伎役者などに白羽の矢が立ちましたが、口調がどうも合わないとなって新劇の若手らが吹き替えを担当するようになり、皆さんも知っている多くの名作映画が吹き替えされました。私はこの世界に入って70年になりますが、私が吹き替えした作品の数を調べてくださった方がいて、7000本以上あるそうです。今、私と同じ世代の90歳超え声優はほとんどいません。現役では私一人だけかもしれませんね。

若者文化を知る

声優は近年、すごい人気で若者が志望する職業のベスト10に入ってきました。海外の若者の間でもスマホやパソコンなどで日本のアニメに接する機会が増え、人気が高まっています。特に「犬夜叉」「鬼滅の刃」「ポケットモンスター」などが有名だそうです。アニメで日本語を学ぶ人も増えましたが、私を訪ねてきたフィンランドの女子学生は日本のアニメが大好きで3年で日常会話を習得したそうです。でも「あなたの名前は?」と聞くと「拙者ですか」と答えるなど少しおかしなところもありました。

さまざまな情報がどんどん、嫌なことでも手元に入り込んでくる時代です。知識を深めようとしても、あまりのスピードで文化が変化するため脳みそが混乱するばかり。私は最近、何でも知りたいということから、限られたことだけを丁寧に知り尽くそうと思うようになりました。現在90歳。長く生きるとしてもあと10年と想定し「その間に何をするか」ということです。できるだけ若い世代と交流して、若者文化を知り、若者の文化に役立てそうな知識を提供することです。

近頃「なんでそんなに元気でいられるんですか?」という問いが多いですが、特別なことはしていません。私は3歳半ばまで消化不良を要因とする未熟児で立って歩くことができませんでした。医者からも見放され、母と家にいたお手伝いさんの献身的な養育を受け、少しずつ健康な体に成長しました。3歳でやっと立ち上がって歩けるようになり、それから72歳まで何一つ病気もせず、無事に健康に過ごしました。

活動的に生きる

ところが間もなく、体の調子が変化を示します。2012年4月、今から12年ほど前に白内障に侵され、両眼を手術。翌年には不整脈で心臓を手術し、ペースメーカーが入っています。15年6月、東京で大雨の日にマンホールの上で滑って転倒し、腰を強く打って病院へ。大腸から出血し10日間の入院。同年7月には胃がんが発見され、緊急手術をしました。17年には再びがんになり同じ手術で1週間の入院。21年にペースメーカー交換手術。昨年は胃がんのカテーテル検査。これから再検査を控えているという、満身創痍の体です。90歳を経て人はどう生きられるのか、サンプルのような人生であります。

体は弱くなり食も細くなってきてはいますが、現状は仕事を続けています。FMラジオの番組は日本テレビの女性アナウンサーと交互に出演して今年で18年。1回30分、CMなしで日本文学を読みっぱなし。そのほかテレビ番組でナレーションを年50回ほど、他にも配信動画や映画などさまざまな吹き替えの仕事をしています。

90歳で現役声優として活躍している羽佐間さんの話に聞き入る来場者たち

日本人の寿命は画期的に延び、今や世界ランクの上位に上り始め100歳超えは当たり前になってきました。秋田魁新報の新聞に掲載されているお悔やみ欄を見たら、100歳以上の方がいらっしゃいました。シニア大学生のメンバーは60～70歳代ということで、まだ青春じゃないですか? この間、105歳で理容師をしている女性の映像を見て、90歳はまだ労働力となり得る年代だと思うようになりました。

人生支える経験

私が関わった番組のエピソードですが、1997年8月31日に当時のイギリス元妃・ダイアナさんが事故に遭いました。翌日の夜9時が私がナレーションを務める番組の放送時間でした。テレビ局から連絡が来て、緊急生放送にしようと。私は休みで軽井沢にいましたが、ナレーションを入れるためプロデューサーからすぐに東京に戻るよう言われました。ダイアナさんは事故が起こって4時間後に病院で亡くなります。

テレビ局とパリ支局の電話はつながりっぱなし。大げさに言えば、全員が放送のために息を切らして走り回り、放送が始まった時には最終ロールのナレーションはまだできていませんでした。エンディングが完成したのは放送終了のギリギリ15分前。この時の達成感が今もみんなの心の絆となって、スタッフとはいまだに仲良く集まって思い出話に花を咲かせています。仕事における失敗談は山ほどあり、今までこの仕事を辞めようと思ったことは一度や二度ではありません。しかし、諦めずに頑張ろうと。このダイアナさんの事件に関わったことが大きく役立ったような気がします。

人間の命って、もちろん一度しかない。人それぞれ違った人生を歩みます。90歳というこの年齢になっても、3歳の幼児を懸命に立たせようと介護してくれたお手伝いさん、そして母の顔は走馬灯のように浮かんできます。その力があって、秋田の皆さんにお会いすることができました。ありがとうございました。

講演、活動報告会の動画はこちら

県立大シニア大学生　活動報告

学ぶ楽しさを実感／刺激あふれる体験

■阿部孝志さん（65）＝潟上市
私はシニア大学生の中で一番年下です。大学では野生酵母を使った発酵食品の研究をしています。また、アカペラサークルに入り、大学生の皆さんと一緒に歌うなど楽しい日々を過ごしています。

■武田洋子さん（69）＝秋田市
毎日大好きなコーヒーを飲んでいて、もっと奥深いところを知りたいと思い勉強しています。学祭では屋台で納豆汁とともに、私がコーヒーを皆さんに振る舞いました。素晴らしい体験でした。

■伊藤伸子さん（76）＝潟上市
私は文学と心理学を受講し、今は図書館で江戸時代のエネルギー問題について学んでいます。現代人の暮らしと江戸の庶民の暮らしを比較すれば、知るほどに納得し楽しく、充実しています。

■加納琴子さん（68）＝湯沢市
ハーブの研究で、いろいろな種類のハーブの匂いを嗅いで脳波の変化を記録し、データを出して可視化しました。先生や学生さんと一緒にハーブを使ったアロマキャンドル作りも楽しかったです。

■齊藤隆さん（67）＝羽後町
本荘キャンパスで学び、建築物に各種センサーや湿度温度計、定点観測カメラなどを設置し、屋根の積雪の影響などを研究しています。新しい知識や情報が入り刺激いっぱいの体験をしています。

■中川兼博さん（73）＝潟上市
農作業で使う稲わら縄使用の復元・復旧に取り組みたいと思い、現在は生物資源科学部で指導をいただいています。今は県南地域での稲わら縄使用実態の確認や、聞き取り調査などを行っています。

■伊藤晴美さん（68）＝秋田市
生物資源関連分野や植物栽培、土壌環境調査などを学び、新鮮な毎日です。サークル活動では竿燈会に入り、おはやしの太鼓を練習。昨年８月の竿燈まつりに参加し、最高の４日間となりました。

■小西恭司さん（68）＝美郷町
花き栽培学、畑作、細胞学、ＤＮＡなどの勉強をしました。現在は大潟村で挿し木や接ぎ木のやり方を教えてもらっています。学祭では模擬店を出して参加させていただき楽しかったです。

■櫻庭竹信さん（73）＝秋田市
本荘キャンパスに通い、コンピューター利用設計システム（ＣＡＤ）によるものづくりを勉強しています。設計した部品を３Ｄプリンターで出力し、どんな風にできるかも見ながら研究しています。

■吉田隆さん（71）＝秋田市
山歩きが好きで自分の趣味に合いそうな森林科学研究室で、原生に近いような山で活動し、森の葉が土に返るまでの勉強・分析を行っています。まとめるのは大変ですが、頑張りたいと思います。

■岩間錬治さん（68）＝秋田市
微生物学の講座の聴講と微生物を活用した環境修復を研究する生態工学研究室で指導を受けています。高校時代に挫折した菌の培養、顕微鏡観察など大変貴重な体験をさせていただいています。

■小松正孝さん（71）＝五城目町
過疎地における農業経済に関連する研究をしています。63歳から始めたフルートでアンサンブルサークルにも参加。年齢、性別、国籍も関係なくでき、とても楽しませてもらっています。

■渋木香菜子さん（66）＝能代市
ファンシー野菜の栽培と分析によって、老いと認知機能の関係性を研究しています。実習では、韓国や台湾からの留学生と片言の韓国語や英語で話せたことがとても刺激的でした。

■渡邉清さん（73）＝由利本荘市
私は畑作関係を学んでいます。昨年11月まで、学生さんたちと一緒に毎週、畑作業を行いました。枝豆の間引きによる収量の違いを研究しました。楽しく充実したキャンパスライフです。

〈企画・制作〉秋田魁新報社営業局